

## WASEDA VISION 150 将来構想 文学学術院グローバル化推進計画

このたび文学学術院では、研究教育の国際化に関わる改革実行プラン「グローバル化推進計画」を新たに策定いたしました。この計画は、「文学学術院の将来構想（公開日 2012年11月15日）」のうち国際化に関わる将来構想を練り直し、より具体化した計画となっています。

文学学術院は、今後またゆまぬ歩みを続けながら将来構想実現に向けた改革実行プランの策定に取り組み、最新の取り組み状況として随時公開してまいります。

### 将来構想

「人文学研究の世界標準確立」（2032）を目指して、

- （1）研究のグローバル化推進、
- （2）国際基準の大学院教育実現、
- （3）学部教育の一層のグローバル化推進

を柱とする、1～3次に亘る計画に基づき、文学学術院のグローバル化を推進する。

#### 第1次 改革推進の原動力となる組織再編（2006-2014）

- ・文学研究科複数専攻から人文科学専攻の単一専攻制へ移行（2006）
- ・「一文・二文から文化構想学部・文学部へ」新2学部体制へ移行（2007）
- ・コロンビア大学との日本文学ダブルディグリープログラム開始（2008）
- ・重点領域研究「国際日本文学・文化研究所」設置（2009）
- ・総合人文科学研究センター設置（2012）
- ・コロンビア大学との共同研究ネットワーク強化に着手（第2次計画推進の基盤づくりを開始）  
※「スーパーグローバル大学創生支援事業」の1ユニットとして資金獲得を目指す（2014）

#### 第2次 競争力ある分野の先行改革（2015-2023）

第1期 日本文学研究の世界標準策定（2015-2017）

第2期 日本文学研究の世界展開（2018-2020）

第3期 国際日本学研究会 World Academia Alliance（WAA）の確立（2021-2023）

#### 第3次 領域拡充による全体展開（2024-2032）

### 中期計画 2017年までの中期計画（第2次第1期）

#### （1）研究のグローバル化推進

角田柳作センター開設（2015年1月）

東京専門学校卒業後に渡米、ドナルド・キーン氏（本学芸術功労者）の師としてコロンビア大学に日本研究を根付かせた角田氏を顕彰し、国際日本学研究会の推進と研究成果の世界発信窓口となる角田柳作センターを、総合人文科学研究センター内の一部門として開設する。そのうえで、コロンビア大学東アジア言語文化学科所属教員および同科を修了し欧米各校で活躍している教員を客員研究員として迎え入れ、世界トップレベルの研究者との最高水準の共同研究ネットワークを構築、優れた研究者たちが本学を中心とした加盟校を循環する『知の回遊システム』を確立する。

## (2) 国際基準の大学院教育実現

文学研究科 国際日本学コース開設 (2017)

世界のあらゆる大学から囑望される、優秀な研究者でありかつ最高の教育者としての素養を備える「高度学術人材」を養成する国際基準の大学院教育プログラムを実現する。学位論文の使用言語は問わないが、国際基準を満たす審査基準と審査方法を導入する。WAA メンバーと共同で実施する日・英両語によるハイブリッド研究指導および角田センターのワークショップ、シンポジウムを組み込んだコースワークを中心とした5年一貫教育課程を編成する。

## (3) 学部教育の一層のグローバル化推進

文化構想学部・文学部 日本文化学プログラム開設 (2017)

日本文化を世界的なコンテキストにおいて捉え直し、その知見を高度な英語運用能力によって世界に発信しうる人材養成を目指す日本文化学プログラム（英語学位プログラム）TSUNODA-SENSEI Program（仮称）を設置する。授業はすべて英語により行い、文学学術院が設置する科目群、WAA メンバーが担当する科目群、および GEC が集約し公開されるオープン科目群から構成する。このプログラムは、文化構想学部のいずれかの論系の新プログラム、または文学部の新コースとして設置し将来的には通算5年の学士+修士プログラムへの発展を検討する。

1. 2013年度報告
①文学学術院グローバル化推進計画（～2032）を策定 ②文化構想学部の昼夜開講制から昼間学部への移行を決定（2017） ③2学部1研究科のクォーター制移行を決定（2017） ④入試制度改革 1.達成度テスト利用入試の導入検討を開始（未定） 2.センター試験利用入学試験における新方式（センターのみ方式）導入を決定（2016） 3.文化構想学部入学者の首都圏集中傾向を改善する指定校推薦新方式導入を決定（2015）
2. 2014年度計画
①戦略的人事を可能とする専任教員採用の新方式導入検討（2016） ②教育の質向上、教員・学生の流動性向上を実現するクォーター制導入の検討（2017） ③研究のグローバル化推進 1.客員研究員等（4名）受入（2014/10） 2.角田柳作センター開設（2015/1） 3.コロンビア大学との箇所間協定改定（2015/1） 4.WAA 出版補助制度開始、WAA Tokyo ラウンド・テーブル（2015/1） 5.WAA New York シンポジウム（2015/3） ④開設準備委員会設置（2014/10） 1.文学研究科国際日本学コース 2.学部日本文化学プログラム ⑤入試制度改革 1. 達成度テスト利用入試の導入検討（継続）